

(様式1)

## 令和4年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1	施設名	(所管課)
	県営富山弓道場	スポーツ振興課
2	施設所在地	
	富山市茶屋町字山の下43-1	
3	施設設置年度	
	昭和54	年度
4	設置目的	
	県民の体育及びレクリエーションの振興を図る。	
5	施設概要	
	延床面積：704.99㎡ 鉄骨（一部木造）造平屋建 （主な設備等） 遠的場（6人立70m・夜間照明） 近的場（10人立28m・夜間照明設備） 会議室	
6	指定管理者	
	公益財団法人富山県体育協会	
7	指定期間	
	5	年
	平成30年4月1日	～ 令和5年3月31日

### 8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

#### (1) 利用者数（人）

H30	R1	R2	R3	R4
11,660	12,054	6,534	8,283	6,844

#### (2) 利用（使用）料金収入（千円）

H30	R1	R2	R3	R4
1,510	1,629	961	1,225	1,090

#### (3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H30	R1	R2	R3	R4
1,240	1,251	1,263	1,263	1,263

## 9 評価項目

### (1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・令和4年度は、コロナ禍における社会経済活動の回復傾向に伴い、利用者数も増加傾向にあったが、施設改修工事に伴う休館（R4.11～R5.3月）のため、利用者数・料金収入ともに減少した。

### (2) サービス向上に向けた取組み

・各種大会、団体利用時において、要望に応じて開館時間の繰上げに柔軟に対応した（繰上げ開館 22件）。  
・施設利用者の便宜を図るため、前年度に引き続き飲料等の自動販売機を設置した。

### (3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・弓道連盟等を通じ、弓道経験者、体験希望者に広くPRし、利用者の増加を図った。  
・自主事業の弓道教室について、ホームページで広くPRを行った（受講者数：延べ1,414人）。

### (4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

#### ①アンケート結果

実施方法	実施期間：通年 実施方法：事務所前にアンケート用紙を設置
回答者数	回答者数：9人
結果	・施設全体の満足度 満足 100%、利用しやすさ 満足 89%  ・意見・要望等 回数券、年間パスポートを導入してほしい 等
結果を踏まえた改善事項	・利用料金については、平成30年度よりシニア料金を設定し、利用しやすい料金体系となるよう工夫を行っている。 ・利用者からの要望については、創意工夫により対応できないか検討している。

#### ②その他利用者の声を反映させる取組み

競技団体からの要望聞き取り等により、施設に対する要望、利用者ニーズの把握に努めた。

#### ③主な苦情と対応

無

### (5) 個人情報保護の取組み

個人情報取扱留意事項を職員に周知徹底しており、適切な個人情報保護に努めている。

(6) 関係団体との連携

- ・弓道連盟等との連携により、積極的に施設のPRを実施した。
- ・県弓道連盟、弓道教室受講者、弓道場利用者のボランティアの協力を得て、年度末に大掃除を実施した。

(7) 施設・設備の維持管理

施設・設備は適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・心肺蘇生法講習会を受講した職員を配置し、事故発生時の応急措置が行えるよう備えた。
- ・事故発生時の早急な対応のため緊急連絡網を作成している。
- ・施設内の事故防止策として、利用者に対して利用マナーと事故防止のための心得を掲示し、事故防止に努めた。
- ・新型コロナウイルス感染症対策として検温、換気、機器・用具の消毒等を徹底した。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	1
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

- ・競技性が高く利用者が限られているが、弓道教室（自主事業）の実施による競技人口の拡大、施設PRによる合宿誘致など引き続き積極的な利用促進やサービス向上に取り組み、利用者数の増加に努める必要がある。
- ・今後とも、聞き取りやアンケートにより利用者ニーズを収集・把握し、より使いやすい施設となるよう、創意工夫した運営が必要である。